



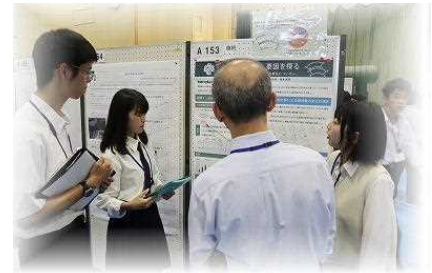
ケンカシだより 第3号

令和元年10月24日発行

台風15号及び19号で被害に遭われた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

高校生理科研究発表会

9月28日(土)に、千葉大学で行われた「第13回高校生理科研究発表会」で、ケンカシの生徒が最優秀賞を受賞しました。これは快挙と言えます。今回の発表会では、県内外の67校から878人の生徒が参加し、研究発表は385件で過去最多でしたが、ケンカシ3年生坂巻日菜さん、藤井俊貴くん、藤本真理さんの研究「錯視を数値化し要因を探る～Jastrow錯視における錯視量の変化について～」が、その頂点に選ばれたのです。



(発表要旨)

錯視量とは錯視の強さの度合を表すものである。私たちはアニメーションを用いて、Jastrow錯視(合同な扇形を上下に並べると下の扇形が大きく見える錯視)の錯視量を数値化することに成功した。また、2つの扇形の隣接する辺の長さの差が錯視を起こすとされていたが、数値化を利用し、別の要因で起きていることを発見した。同じ図形で作成した錯視であっても、位置関係を変えると錯視量が大きく変わることや、扇形の曲線は錯視量を大きくしている要因であることも分かった。



(校長室でインタビュー)

- Q 今年(課題研究Ⅱ)は、昨年(課題研究Ⅰ)からの継続研究だったが、何か変わったことはあるのか?
A 昨年は、Jastrowが言っていることを当たり前として、そこからスタートしていた。今年は、「Jastrowが言っていることは本当なのか」と疑うところからスタートした。
- Q 受賞した感想は?
A 絶対に優秀賞をとることを目標にしていたので、優秀賞をもらえたときには、うれしかった。ほっとした。その後に、その上である最優秀賞に選ばれたときには、驚きとともに、うれしさ・喜びを感じた。
- Q 研究をどのようにしたのか?
A 受験勉強もあり、また、土日はできないので、平日の放課後に研究の時間をとった。発表の2、3週間前からは、かなりの時間を使った。
- Q 今後の進路は?
A 大学に進学しても研究したいと考えている(2名)。以前から興味があった看護系に進みたい(1名)。

この研究は、「令和元年度千葉県児童生徒・教職員科学作品展」でも、千葉県教育長賞を受賞しました。

高校生理科研究発表会数学・情報分野で、3年生笹本隼生くんの「双子素数を作る型を探す」という研究が、双葉電子記念財団研究奨励賞を受賞しました。



(発表要旨)

双子素数とは差が2である2つの素数のことであり、無限にあるかどうかも証明されていないものである。素数に関して、 $2 \times 3 \times 5 - 7 = 23$ 、 $3 \times 7 - 2 \times 5 = 11$ と
いうように、 $k = (\text{任意の素数の積}) - (\text{任意の素数以外の素数の積}) < (\text{任意の中の最大の素数})^2$ ならば k が素数であることに気づき、これを利用して双子素数を作り出す
ような型を作れるのではないかと考えた。この研究ではそれを利用してある特定の条件
式で双子素数を生成できるような型を探した。

利根町会・県立柏高校合同防災訓練

9月29日(日) 午前9時30分、堂ノ下公園で「利根町会・県立柏高校合同防災訓練」がはじまりました。
今年度は、ケンカシ吹奏楽部の生徒が参加させていただきました。



まず、人数の確認が行われ、各班の参加人数が報告されました。
防災会会長さん、利根町会会長さんからの挨拶がありました。
続いて、「防災マルバツクイズ」が行われましたが、非常によく考えられた、練られた問題だと感じました。皆、正答率が高く、
また、楽しそうに取り組んでいました。
好成绩の10名に景品が配られました。



物干し竿と毛布を使って、簡易担架を作ることができるのは、すごいですね。知っておくと便利です。生
徒が作った簡易担架に負傷者役を乗せ、公園からケンカシまで、皆で協力して運びました。

柏市消防局から9名の署員に来ていただき、AED 使用時、通報時、消火器使用時、それぞれに注意すべき点についての説明を受けました。

AEDについては、「119番通報をお願いすること」、「AEDを持って来るようお願いすること」等、他の人に助けを求めることの大切さを学びました。その間に、応急処置をすることになります。

通報時には、場所、状況を明確に伝えること。消火器使用時には、ピンを抜き、ホースの先端を持ちながら近づいていくことなど、大切な知識の確認と実際に体験する機会が設定されており、ケンカシ吹奏楽部生徒にとっても、とても有意義な時間となりました。



訓練が終わった後は、町会の皆様が作ったカレーライスをいただきました。

吹奏楽部生徒も、顧問も、教頭、校長も、皆、とてもおいしくいただきました。

今回、学んだこと（マルバツクイズの知識や、AED、消火器の使い方など）を頭の中で理解することは非常に大切なことだと思います。万が一、緊急事態が起こったときに行動できるように、何度も何度も訓練しておくことは、とても重要だと感じています。



ケンカシは、地域に支えられ、地域とともに歩む学校です。このような、防災訓練を合同で行えたこと、地域の皆さまと触れあえたことに喜びを感じます。

黎明祭

第49回黎明祭が、令和元年9月7日（土）、8日（日）に行われました。利根町会からも、会長さんをはじめ多くの皆様にお越しいただきました、2日間で、2713名の皆様に来場していただきました。

生徒たちは、夏休みから、皆で協力して準備を進め、当日も精一杯、自分の役割を果たしました。アンケート結果から、生徒にとって充実した行事だったことがわかります。





<黎明賞> (クラス部門) 3年8組「STAR TOURS」(部活動部門) 天文部「ご注文はプラネタリウムですか?」

<部門賞> (研究・展示) 天文部「ご注文はプラネタリウムですか?」(演出・演奏) 3年1組「劇「レ・ミゼラブル」
(模擬店・縁日) 3年6組「ふじ家」(アトラクション部門) 3年8組「STAR TOURS」

<PR賞> (実演) 3年5組「あつひろ君のあつあつ焼きそば」(映像) 3年6組「ふじ家」

体育祭

9月20日(金)は快晴で、格好の体育祭日和となりました。昨年に引き続き、200名を超える保護者や地域の皆様に、生徒の活動の様子を見に来ていただきました。

どの競技にも、力を惜しまず、懸命に取り組む生徒の姿がありました。1年生の「2人3脚」では、どのクラスも、仲間がトラックの中を並走する姿は、とてもよかったと思います。2年生の「長縄跳び」、3年生の「30人31脚」も、クラスの団結が十分に深まったことと思います。応援団長、副団長がよく団をまとめ、一生懸命に自分のチームを応援する姿に、学年・クラスを越えた関係が構築されたことを感じます。

最後に、生徒が肩を組みながら歌う校歌を聴くのは、本当に感動します。



(ケンカシホームページ)

ケンカシでは、学校の様子をホームページに掲載し、日々更新することにより、情報発信に努めています。

(ケンカシホームページアドレス <https://cms1.chiba-c.ed.jp/kashiwa-h/>)